

# 平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年 6月 9日記入

基本目標	Ⅲ ▼ 躍動し 魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	32320
政策名 (章)	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます	評価担当課	土木部 ▼
基本施策名 (節名)	第3節 円滑な道路交通の確保		道路管理課
施策名	道路管理の充実	課長名	小菅 庸夫

## 1 施策の概要・目的

道路管理の充実に向け、市道の境界確定等により道路台帳の整備を進め、総合的な道路情報を網羅した道路情報管理システムの開発に取り組むとともに、道路環境の向上を図るため不正占用の適正化の推進及び道路愛護意識の高揚を図る。

## 2 施策の現状

市道の境界確定については約9割が確定済みであり、道路情報管理システムについては一部が稼動し、全体稼動は平成20年度の予定で整備を進めている。また、その他の経常的事業についても継続して取り組んでいる。

## 3 総事業費及び人員

### (1) 施策に要している総事業費

**321,783** 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

### (2) 市民1人当りの事業費

**522** 円/人……人口は、**61.6** 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

### (3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 **60** 番目です。

### (4) 施策に要している人員

**6.99** 人……構成事務事業全体の人員合計

## 4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	道路境界確定率 道路境界確定延長÷市道認定延長×100	道路境界の確定状況の把握	現状	1,499 km 単位	0 50 100	目標年度
			目標	1,640 km 単位		達成度 91%
指標2	普通財産(廃道路敷)処分率 処分済面積÷全体面積×100	進捗状況を明らかにし、効率的な施策運営を図る	現状	79 m <sup>2</sup> 単位	0 50 100	目標年度
			目標	7,344 m <sup>2</sup> 単位		達成度 0.10%
指標3			現状	単位	0 50 100	目標年度
			目標	単位		達成度 %

## 5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

快適で安全に通行できる道路を維持していくためには、道路の区域を明確にし、道路に関する情報の取得が不可欠である。また、市民生活においても道路管理の充実を図る必要性が求められている。

6 有効性…期待される効果があがっているか

道路は快適な市民生活と活気ある経済活動を支える重要な都市基盤施設であるとともに、電気、ガス、水道等のライフラインの収容空間であり、道路財産の適正な管理は、道路機能の維持のため必要不可欠である。

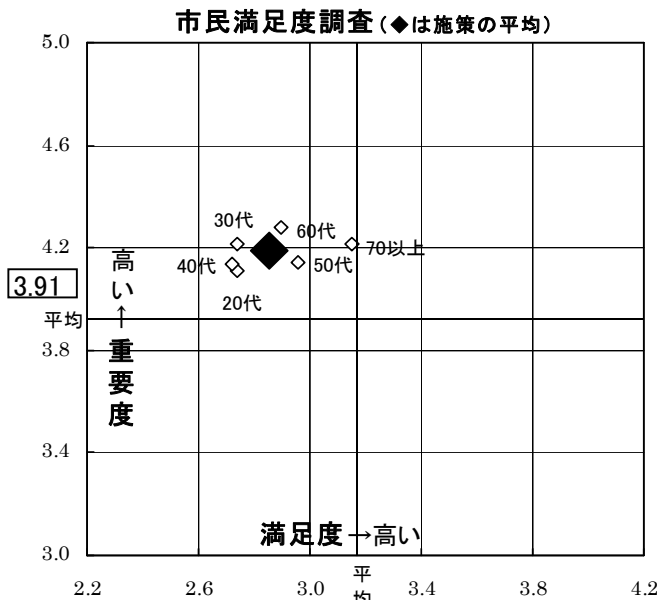
7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

施策の効率的な実施について調査研究するとともに、他市の状況等を参考に事務事業を実施しているが、今後もさらに大きな効果が得られるように取り組む

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

- ◆この施策の満足度は、2.852で、調査した51施策の中で50番目です。
- ◆この施策の重要度は、4.186で、調査した51施策の中で11番目です。
- ◆この施策の改善要望度は、0.944で、調査した51施策の中で4番目です。

◇年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、40歳代以下の若い層で低くなっています。重要度は年齢による大きな差はみられませんでした。60歳代で最も高く、20歳代で最も低くなっています。



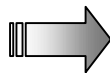
市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)

9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

多様化する道路形態等に対し道路管理の充実、適正化が求められているが、各種の道路情報量は膨大であるため、電子化による情報化は不可欠であり、道路情報管理システムの早期整備が必要である。

10 今後の方向性(1次評価)

今後の方向
<input type="checkbox"/> 拡充する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持する
<input type="checkbox"/> 見直し



説明及び具体的内容

道路は日々変化し継続するため、その管理も経常的に継続するものであり、管理の充実を図りながら各種の事務事業を実施していかなければならない。  
また、市民ニーズの変化などに対応するため、他市の事例等を参考に必要に応じて見直しを検討する。

11 2次評価

	説明
<input type="checkbox"/> A	歩道上の看板類・自転車の撤去、植栽帯の管理など、市民とのパートナーシップによる施設管理のあり方を検討すること。また、道路情報管理システムについては、費用対効果、事業範囲なども含め、そのあり方の検討を行うこと。
<input type="checkbox"/> B	
<input checked="" type="checkbox"/> C	

12 外部意見

説明  
歩道上の看板類・自転車等の撤去などを積極的に行い、安全で快適な歩行者空間の確保を進める必要がある。

